

2021・夏

活動報告

あの日から10年

野原くんキャンプ

今とこれから

発行・野原くんキャンププロジェクト
このリーフレットはクラウドファンディングにご理解していただいた
のべ107人の方々の支援金により制作しています

どうして「キャンプ」なの？

「野原くんキャンプ」は、比較的軽度の発達障がいを持つ子ども達の、コミュニケーションスキルを向上させることを目的としています。

発達障がいは「発達」の凸凹が他の子に比べて大きいのです。そのため学習や日常生活だけでなく、交友関係などにも困難を抱えてしまいがちです。人と関わるのが苦手ですから、成功体験・失敗体験が少なくコミュニケーション力が不足になりがちです。

キャンプは彼らにとって「教育」でも「支援」でもありません。わたし達スタッフとも「遊びを通して楽しいかわり合い」を持とうとするものです。

…川遊びにプール、ゲートボールにTボール、スイカ割り。ピザづくりに畑のお手伝い、鶏やヤギ、犬の世話。手作りカルタ大会…等々を3泊～4泊で行います。そしてキャンプ最終日は何といても「お楽しみ会」。子どもたちとともに特技を披露したりオリジナルな寸劇をしたりします。

キャンプ中に行うさまざまなゲームや活動は、同じような困難を抱える仲間と、気兼ねなく過ごす時間です。その中では、小さな成功体験や失敗体験を積んでいくことが出来ます。小さな体験であっても積み重ねることによって、子どもたちは自信をつけていきます。そして自己肯定感が育てば、新しい経験にも積極的に取り組んでいくことができるようになるでしょう。

生きづらさを抱えた子どもたちにとって、一人ひとりが尊重される体験が本当に必要です。

私たちはこのキャンプで「あなたは大事な人だよ」という事と「ひとりじゃないよ」というメッセージを持ち帰ってほしい、そう思っています。この試みが継続し生きづらさを抱える彼らをサポートしつづければ、とスタッフ一同心から願っています。



キャンプに初めてきたときは、不安でした。でも、体育館でみんなで遊んだら緊張がゆるみました。そこからは楽しめました。キャンプで楽しかったのはティーボールです。（参加者 K.I くん）

スタッフ

進士 徹（ぼんた）

一般社団法人あぶくまエヌエスネット 代表理事
野原くんキャンプの宿泊や受入をしています。純粋で真っ直ぐな子ども達と関わる時間は、人間浄化の時間でもあり、年に1度のキャンプ活動を積み重ねて行くとその繋がりがいつしか「強い絆」に変化しているのです。

武井雅風（JO）

精神保健福祉士

私が福島に足を運び続ける理由、それは子どもたちに会いたいからです。彼らとは、友だちと言うよりも親戚のような関係性かもしれません。別れるときは、「また来年」。年に一度、会わずにはられないのです。



峰松真美（Q）

保育士

私はスタートから数年経って野原くんキャンプに参加しました。今では毎年参加をしています。子どもたちの笑顔、幸せそうな表情に私自身たくさん元気をもらっています。キャンプが終わり子どもたちを見送った瞬間、あーまた会いたい！とウズウズします。



吉田千夏（ちむ）

保育士・イラストレーター

私にできることをしなくちゃ、という思いが、いつしか「ふくしまの子どもたちに会いたい」に変わっていました。ここでの経験を知らない子どもたちがまだたくさんいると思うと、なんてもったいないんだろう！と思います。本気で遊び、本気で楽しむ仲間たちが今よりもっと増えることを期待しています。



ふくしまの今と子どもたち…

一般社団法人あぶくまエヌエスネット 代表理事 進士 徹

福島復興状況

2011年3月11日東日本大震災で発生した大津波で翌12日、福島第一原発水素爆発事故発生。目に見えない放射線が大量に拡散してしまった福島県。特に浜通、県北エリアの放射線濃度が危険なほど高く、住みなれたふるさとを離れなければならないひどい事態に陥りました。

事故直後の福島は、パニック状態！日に日に原発事故の大きさが暴露され、県内外避難者＝164,865人（ピーク時、2012年（平成24）今でも県外避難者＝28000人がいるのです。また震災関連し、特に福島県の自殺者は118人と悲惨な状況であることを察して頂きたいです。福島の震災原発事故は未だにピリオドが打てない状況なのです。この先も原発廃炉30年、50年後に福島の震災が終わった！という時代になればよいのですが、それは誰にも分かりません。

子どもに罪はない

原発事故後、子ども達は野外で遊ぶ事が出来ませんでした。ゲーム機遊びに当初は喜んでいましたが3日もやり続ければ飽きてしまい、やはり外で遊びたくなりました。それでも出てはいけな！！と強く言われ、徐々にストレスが自傷行為にエスカレートしたり、兄弟げんかが激しくなったり様々でした。

マイナスがプラスに

原発事故があろうと、絶対に子どもの笑顔と元気を奪うことがあってはならない！覚悟と使命感で「ふくしまキッズ」を2011年4月に立ち上げました。全国の自然学校、自治体、公民館職員、学生、社会人が7年間も応援してくれました。初めの活動場所は北海道でした。その時の印象は実に強烈で放射線の事を気にしないで思いきり外で遊べることを体いっぱい表現していました。来る日も来る日も…遊べる幸せを子ども達は無意識に充電しているかのようでした。学校の長期休暇に全国の受け入れ地で長期宿泊体験活動を積み重ねトータル5800人の子ども達が、心豊かな成長をしています。福島で暮らす事が本当に大丈夫だろうか？その疑問が隣り合わせにありました。でも「ふくしまキッズ」「野原くんキャンプ」の活動がいつしか希望のプログラムになって行きました。マイナスがプラスに転じた奇跡のプログラムです。

子ども達の笑顔が…

参加した子ども達の笑顔！そして寄り添う大人がいる事、その時間と空間があることで安心して活動を繰り返す中で、確実に成長の階段を一段一段その子のペースで成長しています。そして、たくさんの恩をいつか還せる大人になりたい！そのような気持ちを抱いて将来への目標に向かって、日々精進している子ども達です。

の思い



進士 陽平（ペー）

一般社団法人あぶくまエヌエスネット
年1回ながら子どもたち、私たちがとても楽しみにしている大切なイベントであり、言葉に表せない大切な時間がそこには流れる。今年の夏開催できることが嬉しく待ち遠しいです。



鈴木崇史（ほせ）

児童発達支援管理責任者

いても立ってもいられませんでした。自分にできる復興支援が「野原くんキャンプ」だったのです。

毎年、子どもたちと笑い合っているうちに、数あるキャンプの中でも、とても楽しみな特別な1つに変わっていきました。今では、「野原くんキャンプ」は福島と私を繋いでくれる大切な架け橋です。



石井英行（どか）

一般社団法人ジャパンアウトドアネットワーク
元運営委員長

「野原くんキャンプ」は、ぼくにとって格別です。再開したときの笑顔がたまらなく愛おしいのです。一年を心待ちにしてくれていたことが分かります。あの笑顔を、もっと多くの子ども達と共有したいといつも考えています。



野原くんキャンプの沿革

- 2011 福島第一原発の事故により、避難を余儀なくされた福島の子どものための支援活動の一つとして「ふくしまキッズ」が立ち上がり、夏休みを使って、延べ580人の子ども達が幾つかのコースの分かれて参加をした。その際、障害児と親を対象としたコースを設けだが、いわゆる軽度の障害を持つ子ども達は、その対象とならず活動になじめない子ども達があった。
- 2012 引き続き「ふくしまキッズ」は継続されたが、先に挙げた子ども達のコースは諸事情により開催できなかった。
- 2013 (南会津 7月28日～8月1日 4泊5日)
横浜で軽度の障害の子ども達と活動が続いている「歩人クラブ」のスタッフが「東日本大震災復興支援財団」の資金的な援助を得て「ふくしまキッズ」に合流。「ふくしまキッズ・南会津コース」が、軽度な障害を持つ子ども達のコースとして再スタートした。
- 2014 (7月29日～8月2日 4泊5日)
各種支援団体の資金援助からはずれて、ふくしまキッズ実行委員長のフィールド「あぶくま」のプログラムにBコースとして合流。スタッフは引き続き「歩人クラブ」が引き受け、他に若干のボランティアが参加。
- 2015 (8月1～5日 4泊5日)
前年に続き「ふくしまキッズ・あぶくまプログラムCコース」として実施。
この年ふくしまキッズ実行委員会は解散となり、それまでの各地のプログラムは独自な取り組みとして継承することとなる。
- 2016 (7月30日～8月3日 4泊5日)
ふくしまキッズ実行委員会の解散後を受け、名称を「野原くんキャンプ」と変更する。
この年「NHK 厚生文化事業団」の支援を得る。
- 2017 (7月28日～8月2日 4泊5日)
キャンプの対象者をそれまでは小4年より中学生としてきたものを、高校生までに引き上げる。
「たまきはる基金」より支援を得る。
- 2018 (7月24～28日 4泊5日)
キャンプの参加者が固定化し、広がりやを欠いて来たことから、キャンプの対象者を小学生から高校生とする。引き続き「たまきはる基金」より支援をえる。
- 2020 (11月21～23日 2泊3日)
キャンプの実施と、広がりを作り出してゆくために、クラウドファンディングにより支援を得るが、新型コロナウイルスの影響によりさまざまな予定を繰り延べることとなった。キャンプは秋に実施を延期し小規模に行った。したがって、資金の活用はせず「たまきはる基金」のみで実施する。



あなたも野原くんキャンプに来ませんか？

いっしょに遊ぼう！



連絡先

一般社団法人あぶくまエヌエスネット

✉ abukuma@basil.ocn.ne.jp

☎ 0247-48-2508

